

事務事業評価シート

(H.28)No.	3203	(H.27)No.	3203
-----------	------	-----------	------

事務事業名	空家リノベーション支援事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
都市整備部	営繕住宅室	鷲阪 文宣	

会計区分	事業コード	422601
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 土木費	空き家リノベーション支援事業	
項 住宅費	(小事業名)	
目 住宅総務費	空家リノベーション支援事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本施策	3	快適な生活環境づくり
	施策	3	住宅・住環境
	小施策	1	住宅整備
重点施策コード		2-4.わが街リフレッシュプロジェクト	

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
移住に伴う移住者の自己負担を低減することにより、県外からの移住を促進します。
事業内容
市内の空家住宅等を住宅として改修する費用の3分の1以内(上限100万円)を補助します。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.27年度(事業量・取組実績)	H.28年度(事業量・取組計画)	H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	<H.26繰越分> 空家リノベーション支援事業費補助 3件 <H.27現年分> 空家リノベーション支援事業費補助 2件	空家リノベーション支援事業費補助 5件	5戸を目標とし、移住の促進に努める	5戸を目標とし、移住の促進に努める	5戸を目標とし、移住の促進に努める

	H.27年度(決算見込)		H.28年度(作成時予算額)		H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)
①直接事業費	(2,754千円)	2,000千円	5,000千円	5,000千円	5,000千円	5,000千円	5,000千円
内訳(千円)	国・県支出金	(2,754)	2,000	5,000	5,000	5,000	5,000
	地方債						
	その他()						
	一般財源	(0)	0	0	0	0	0
人工数	職員	0.15人	0.15人	0.15人	0.15人	0.15人	0.15人
	臨時職員等	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
②概算人件費	(0千円)	1,140千円	1,140千円	1,140千円	1,140千円	1,140千円	1,140千円
①+②総事業費	(2,754千円)	3,140千円	6,140千円	6,140千円	6,140千円	6,140千円	6,140千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.27年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
当初は3件の予定でしたが、想定を超える申し込みがあったため、県に対して速やかな補助金の増額申請を行うことにより、5件の実績を残すことができた。	県の補助金の分配方式が事前分配方式から申請順方式に変更となるため、継続して市広報、ホームページ、協力団体等を通じて周知を図り、早期の事業実施による補助金の確保に努めたい。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか A(2つ以上の施策指標達成に貢献又は基本方針達成に特に貢献)	空家の活用促進を図ったことによる快適な住環境整備に役立った。また、県外からの移住促進に貢献した。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 実践している(※実践内容を記載→)	宅建協会と連携し、事業内容を周知した。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画
県の補助金(100%)を活用しての補助事業であることから、県の補助がある限り継続する。	名張市空家等対策計画